

専門職向け研修会の内容

在宅医療・介護調整職研修会

- **テーマ** 「退院支援調整における各職種が考える在宅可能なレベルについて」
 ファシリテーター／八郷整形外科内科病院 福田 潤 氏
 事例提供者 　　／石岡第一病院 檜山 智恵 氏
 　　　　　　　　石岡市医師会病院 阿久津 美帆 氏
- **開催日程** 平成30年10月11日（木）14時～16時
- **ねらい**
 - ・在宅限界点を引き上げ，在宅医療と介護の希望が叶えられるようにする
 - ・本当に，在宅医療の選択肢は無いのか，多角的な視点で考える
- **参加者** 79名（市内・近隣の退院支援調整に関わる機会が多い職種団体から参加）

{	ケアマネジャー	53名
	小規模多機能居宅介護	3名
	訪問看護	2名
	ソーシャルワーカー	12名
	行政	9名
- **研修内容** 事例検討（2事例）
 - ①社会的困難が多いケース
 - ②医療処置が多いケース
 1. 基本情報と課題を提示
 2. 個人ワーク（課題に対する支援方法考察後，最終的に施設か在宅を選択）
 3. グループワーク（他参加者の支援方法も参考に，改めて施設か在宅を選択）
 4. グループワーク（課題要件を変更し，再度施設か在宅を選択）

例)

課題	考えられる支援方法	課題設定変更	支援方法の変更
体重のコントロール	配食・訪問介護		
同居父の介護力	本人が移乗できれば 父の介護力でOK	同居父が超高齢・要介護 だったら？	ケア不足
年金収入のみ	負担限度額申請		
退院後は 在宅or施設	在宅？		施設？

- **今後の展開**
 - ・アドバンスケアプランニングについて1月に意見交換会を計画
 - ・継続した研修会開催の必要性を確認。今後も連携が推進できる研修を実施する

H30.10.11 在宅医療・介護調整職研修会 アンケート集計結果

市内／31名

市外／17名

未回答／25名

n = 73

■アンケート結果（抜粋） n=73名

◇今回の研修会に参加して良かったですか（10段階評価）

↑ 良かった	10	26名
	9	8名
	8	23名
	7	6名
	6	5名
悪かった ↓	5	2名
	4	1名
	3	1名
	2	1名
	1	0名

78%

「非常に良い」に該当する8以上が78% → 高評価であった。

◇今日の研修会で初めて話をした人は何人いましたか

①0～2人	8名	} 81%
②3～4人	25名	
③5～6人	34名	
④7人～	6名	

3～6人が81%

→ 新たな顔の見える関係づくりができ、多職種連携をさらに充実させる機会になっている。

◇在宅復帰可能なレベルを引き上げられたと思いますか

①すごく思う	8名	} 77%
②まあまあ思う	48名	
③どちらとも言えない	17名	
④あまり思わない	0名	
⑤まったく思わない	0名	

「引き上げられた」が77%

→ 在宅限界点を引き上げるねらいを達成できた。

◇どの要件が在宅復帰と施設入所検討を分けた一番のポイントでしたか

- ・ 本人の帰りたいという意思と状態
- ・ 家族の介護力
- ・ 家族と本人の関係性
- …その他

在宅に対する「本人の意思」を『検討を分けたポイント』とした意見が最も多かった。

★ これからの治療やケアに関する話し合い～アドバンス・ケア・プランニング～について、多職種で理解を深める機会を作る。
→ 意見交換会の企画へ

◇他の参加者の意見や考え方は参考になりましたか

①すごく参考になった	50名	} 97%
②まあまあ参考になった	21名	
③どちらとも言えない	2名	
④あまり参考にならない	0名	
⑤まったく参考にならない	0名	

「参考になった」が97%

別の視点で考えたり、退院後のイメージを多職種で共有することができた。→ 今後も研修会を通して互いの意思疎通をはかっていく。

■会場の様子

